



早稲田大学校友会 板橋稲門会 会報
2024 年度下期版 2025 年 1 月 1 日発行 第 33 号
板橋稲門会ホームページ: <https://www.i-toumonkai.jp/>

発行人: 朝倉 久男
編集: 板橋稲門会 会報分科会
事務局: 東京都板橋区若木 1-9-17
TEL: 03-3936-7877

板橋稲門会会報

—「宇宙から国境は見えない。」毛利 衛 (宇宙飛行士)—

新年にあたってのご挨拶 — 会長 朝倉 久男 (昭和 47 年 政経) —

新年あけましておめでとうございます。板橋稲門会の皆様、そして、ご家族におかれても健やかな新年をお迎えの事と存じます。新しい年を迎え、今年こそはと飛躍を誓う方、家族の節目の行事に思いをはせる方、一年を無事に過ごしたことに感謝される方など、いろいろな新年があろうかと思いますが、共通するのは「早稲田で学んだ」という一事です。

今年は十干の「乙 (きのと)」と十二支の「巳 (み)」が組み合わさった「乙巳 (きのと・み)」です。乙 (きのと) は十干の 2 番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味だそうです。また、巳 (み・へび) は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳 (きのと・み) の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるそうですので、板橋稲門会にとってもそんな一年になればと願っております。板橋稲門会は来年設立 40 周年という節目の年を迎えます。40 年を一つの区切りとして、これまでの板橋稲門会の歴史に自負と誇りをもち一步一步着実に活動の幅を広げて発展してゆけたらと思っております。

昨年の活動を振り返ってみると、例年にも増して活発な活動を行い、新年会から始まり、お花見ウォーキング、シニアの会、工場見学会、板橋稲門の集い (総会)、新人歓迎会、テニス部会、カラオケ部会、納涼会、観劇会、ゴルフ部会、

バーベキュー、女子会、食べ歩き会、世界の食を楽しむ会、初めての稲門祭への出展、早明ラグビー 100 周年、また、毎月の健康ニュースの配信や広報委員会による年 2 回の会報発行、FB の発信などがありました。役員陣の皆様は、そのほとんどが仕事の合間を縫っての隔月開催の役員会への出席、各種行事の企画運営、また、大学校友会の様々な行事への積極的な参画を頂いており、お忙しい中でのご協力に感謝する次第です。母校早稲田大学では、田中愛治総長のリーダーシップのもと、早稲田大学の長期的な改革ステージである「Waseda Vision 150 and Beyond」においても着実に歩みを進めており、2040 年には日本で最も価値のある大学だと世界中の人々に思っただけの大学になることを目指すと表明されております。板橋稲門会では従来の「大学応援基金」に続き、会報篤志を以て、昨年は「新 9 号館建設募金」に 30 万円を寄付させて頂き、今後も大学への支援を続けてゆきたいと考えております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、本年も「ATM」をモットーに、A (明るく)、T (楽しく)、M (前向きに)、**会員同士のコミュニケーションを深めてゆく**1 年にしたいと願っております。



【稲門祭記念品販売結果】

2024 年稲門祭記念品販売結果をご報告申し上げます。目標: 220,000 円 寄付金 106,000 円 記念品販売 150,000 円 合計 256,000 円 (達成率 116 %) 上記のように、今回も稲門祭記念品販売の目標を皆様のお蔭で達成することが出来ました。ここに深く御礼申し上げます。今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

幹事長 山上 郁雄 昭和 59 年 (理工) 卒

早稲田大学 田中 愛治 総長 式辞

2024 年 9 月入学式式辞（学部・大学院共通）

本日は、皆さんのご入学に際して、早稲田大学の教育に関する哲学と理念と、早稲田が提供する教育環境から何を学び取ってもらいたいのかという事をお伝えしたいと思います。私が早稲田大学の総長として提唱してきた理念が 3 つあります。それは、「たくましい知性」と、「しなやかな感性」、それに「響き合う理性」です。

「たくましい知性」、是非とも早稲田で、人類がかつて未知の問題にどのように答えようとしたかという学問の成果を学ぶ「たくましい知性」を育み、自分の頭で自分なりの解決策を提示できるようになっていただきたいのです。「しなやかな感性」とは、自分とは異なる人々の考え方や感じ方を理解できる感性、自分と異なる立場の人々のことを思いやる気持ちを持つことです。

3 つ目の「響き合う理性」、これは、自分と異なる考えを持つ人の意見にも耳を傾け、対話を通して互いに高めあうことを目指しています。そして、早稲田大学は、この「たくましい知性」「しなやかな感性」「響き合う理性」を提供する最良の教育環境をえていると、自信を持って言えます。

例えば、早稲田では、「Academic Writing and Discussion in English (AWADE)」を教えています。これはエール大学や UCLA で教えている「フレッシュマン・イングリッシュ（新入生のための英文の論理的な書き方）」に匹敵する内容です。この科目は、いかに論理的に考え論理的に文章表現できるかを学ぶことができます。

この科目はグローバル・エデュケーション・センター（GEC）で履修することができます。また GEC は、「学術的文章の作成」という日本語の文章を書く力を育てる科目のほか、データ科学の科目を複数用意しており、これらの科目は、AI（人工知能）を用いてビッグ・データを分析する手法を学べます。



以上のように、早稲田は多様な科目を数多く設置している日本で唯一の大学なのです。そして私は、皆さんが正規の学科目以外に、何か打ち込めるものにも出会ってほしいと願っています。

皆さんには早稲田での学生生活を楽しんで頂き、4 年後には、より一層輝いて卒業することを期待しています。

早稲田大学へのご入学、本当におめでとうございます。

2024 年 9 月 23 日



2024 年度 下期 おもな早稲田大学・校友会行事（抜粋）

10 月 21 日（月）は早稲田大学の前身である東京専門学校が 1882 年に開校してから 142 回目にあたる創立記念日でした。その前日 10 月 20 日（日）には、ホームカミングデーと同日で「稲門祭」が開催され、会員の親睦を深め、母校を思い出す契機となるイベントが多数企画されました。

（11 月 2 日（土）、3 日（日）には、現役大学生による早稲田祭および理工展が開催されました。）

秋以降、野球やラグビーの試合が続きました。

11 月 9 日（土）、10 日（日）は神宮球場にて東京六大学野球秋季リーグ戦における早慶戦が行われ、その後の明治大学との優勝決定戦の勝利。春季に続き東京六大学野球の最多を更新する通算 48 回目の優勝を決め、9 年ぶりとなるリーグ戦連覇を達成しました。

11 月 23 日（土）はラグビー早慶戦が秩父宮ラグビー場で行われました。

12 月 1 日（日）には、ラグビー早明戦、記念すべき 100 戦目が国立競技場で開催されました。早稲田は明治に 27：24 で勝利し、対抗戦を全勝優勝でかざりました。

2025 年 1 月 2 日、3 日に開催される東京箱根間往復大学駅伝競走は 101 回目となり、早稲田大学は連続 49 年、94 回目として出場します。

また、校友会主催行事としては、2024 年 11 月 6 日（水）に久邇カントリークラブにて第 15 回校友会ゴルフ大会が開催され、195 名ほどが参加、ゴルフを通じて校友の皆様相互の懇親を図りました。板橋稲門会は団体戦で 3 位に入賞、個人でも 7 位に入りました。

校友の祭典「稲門祭」会場：早稲田キャンパス

2024.10.20

板橋稲門会では、今年度、多くの同窓生と交流できる稲門祭での初の試みとしてテント出店を行い、板橋名物石田屋栗饅頭の販売と新入会員募集をしました。初秋の冷え込みと強い北風はあるものの快晴に恵まれた稲門祭当日の早朝、会場の大隈庭園への商品、資料、機材の搬入の労は小原さんと藤井さんが担当。他の稲門会支部のテントでも様々な商品を出品していました。卒業生のバンド演奏が始まり来訪者が増すにつれて、会場は稲門祭らしい活気のある場となりました。

10時からの販売開始当初は仕入れた100個の饅頭の売れ行きが心配でしたが、大きな栗が一粒入っている栗饅頭の評判の美味しさが人を呼び、なんと！午後1時半には完売しました。用意した会報も多くの方がお持ちになり、数名からの入会問い合わせもありました。

同窓生同士が旧交を温め、ご家族やお友達同伴での来訪で新しい知遇を得ることが出来る年に一度の好機での出店は大成功でした。この間、テントを訪問してくださった朝倉会長、鷹觜顧問、藤田相談役はじめ多くの役員・会員から激励をいただき、また、3名の在学学生がお手伝いに来てくださいました。会員からは来年度の企画への提案もあり、担当者一同感激した次第です。

早稲田の森にある母校がまさしく「心のふるさと」であると実感した一日でした。後片づけ担当の小原さん、石上さん、在学学生の大久保さん、お疲れさまでした。

昭和57年(文 修士)修了 赤井 ひさ子



第15回早大交友会ゴルフ大会

2024.11.6

11月6日(水)に第15回早大交友会ゴルフ大会が埼玉県久邇カントリー倶楽部にて開催され、マラソンの瀬古利彦さんをはじめ195名の校友が参加しました。我が板橋稲門会からは坪井さん、追川さん、長谷川さん、野木の4名が参戦しました。大人数のため、あらかじめ東、西、北の全てのホールに二組ずつ配置し、一斉にスタートするいわゆる『ショットガン方式』でプレー。幹事団の運営は過去14回の知見の積み重ねもあり素晴らしいもので、皆和気あいあいとプレーを楽しみ、懇親を深めることが出来ました。結果は、板橋稲門会は何と団体戦3位入賞!! 追川さんが個人でネット7位入賞、野木がニアピン獲得と、団体、個人とも素晴らしい結果となりました。パーティ表彰式の締めは、応援部稲門会リードによる校歌斉唱! 来年11/5(水)の第16回大会での再会を誓いあい、楽しい一日は締め括られました。近年の板橋稲門会の充実した活動ぶりは大学当局や他地域稲門会からも注目されていますが、ゴルフでも板橋稲門会の存在感を示すことが出来ました。来年は優勝目指して更に皆で盛り上げていきたいと思ひます。



平成2年(政経)卒 野木 正弘

2024 年度上期のイベント報告 1/2

※イベントの開催日付は順不同

板橋稲門会 新規会員歓迎会

2024.7.19

本年 7 月 19 日に実施された板橋稲門会新入会員歓迎会の開催状況についてご報告します。場所は、東武東上線大山駅近くの「和匠大山店」という居酒屋で午後 7 時から 9 時頃まで開催されました。参加者は、朝倉会長以下総勢 13 名で、そのうち新入会員は私を含めて 5 名であり、今期の新入会員は 8 名とのことから、新入会員の過半数が参加したことになります。私は、昨年の 3 月から板橋稲門会に参加したものであり、自分では入ったばかりと思っていたのですが、自己紹介の際に、参加した 5 人の新入会員の中では一番古いからと最初に挨拶をするように促されたことから、1 年余りの間に多くの方が当会に参加していることを知り、当会の幹事の皆さんの熱心な活動が、多くの新入会員の参加を促しているものと思われました。2 時間という限られた時間ではありましたが、新入会員の自己紹介だけではなく、幹事の皆さんから懇親会、ウォーキング、食べ歩き、スポーツ観戦、施設見学、観劇、大学への協賛活動、そして広報誌の発行等の活動状況を説明していただき、幹事の皆さんの人となりに触れるとともに、幹事の皆さんと新入会員、そして新入会員同士の会話も弾んで、文字どおり、懇親の場として非常に有意義なものでした。なお、私は、都営三田線板橋区役所前駅近くの板橋公証役場で働いており、東武東上線沿線の出張に赴く際には、大山駅を利用することもあるのですが、正直、電車に乗るためだけに大山駅に来ていたので、今回の懇親会の始まる前の 1 時間余り、大山駅周辺のハッピーロード商店街をぶらついてみて、様々な商店が軒を並べて、買い物客と一体となった独特の活気に満ちていたことから、板橋区の底力を感じ、ここで仕事をしていく意義、そして、この場所で板橋稲門会の皆さんと知り合うことができた縁を深く感じました。



昭和 60 年（法）卒 植村 誠

板橋稲門会 観劇会実施

2024.7.27

7 月 27 日（土）、国立演芸場寄席「7 月番組」に参加者 12 名で鑑賞しました。国立演芸場は国立劇場の一部として 1979 年に開場、独立行政法人日本芸術文化振興会が運営。国立劇場に隣接していましたが、立て直しのため他劇場を借りての公演を行っており、今回は紀尾井小ホールでした。

演目は落語の他に胴の部分が缶でできたカンカラ三線の演奏や奇術もあり、15 分の仲入り（休憩）を含んでほぼ 3 時間、暑さを忘れて皆で笑い転げて過ごしました。暑い毎日で家にこもりがちでしたが、久しぶりに会員の皆様とお会いでき、気分転換にもなりました。落語も楽しかったので、また個人で来てみようと思いました。シニア割引もあり、5 つスタンプを集めるとグッズがもらえるというスタンプラリーも行われているとのこと。落語の後には中華料理「皇記」にて懇親を深めました。



昭和 49 年（教育）卒 安藤 真理子

拡大女子会開催報告

2024.9.7

9 月 7 日（土）17 時半から、板橋区板橋 1 丁目にある「パリ 4 区板橋店」で拡大女子会が開催されました。会員の女性ご家族も含め 13 名の方が参加、美味しいフレンチディナーとお酒をお喋りとともに楽しみました。お料理は、前菜、メイン、ともに 2 種類から選べ、食後のデザート・コーヒー付き。素敵な盛り付けにも癒されながら食べ応えのあるコースでした。

初対面の方もいましたが、自己紹介の時間には様々な話題が飛び出して会話も弾み、あっという間の 2 時間半でした。



平成 5 年（政経）卒 遠藤 陽子

2024 年度上期のイベント報告 2/2

※イベントの開催日付は順不同

板橋稲門会 納涼会

2024.8.24

2024 年 8 月 24 日（土）、『板橋稲門会 納涼会』を高田馬場さかえ通りの『清龍』で実施しました。通常は板橋区内での開催となるところですが、『伝説の清瀧を会場に』とのリクエストも多く、皆で『遠征』することになりました。

板橋稲門会会員とその家族 23 名が参加し、2 時間飲み放題 5,000 円の豪華コースで楽しく過ごしました。私が学生時代を過ごした 1980 年代中後半には清龍には広い座敷があり、サークルやクラスの飲み会でよく利用しましたが、飲み放題で 2,500 円程度だったと記憶しています。

リニューアルされた清龍は数人単位のテーブル席がメインで、かつてのような使われ方はされてない感じがした。土曜日夕方でしたが、1 階から 3 階までほぼ満席で大賑わいでした。参加者はそうしたリニューアルされた清龍と皆の記憶に残っている清龍とのギャップに若干戸惑いつつも、皆それぞれかつての清龍での思い出を披露しつつ、学生時代を懐かしみながら大いに語り合いました。

結論は『皆清龍大好き！』ってことでしょう。連日の暑さを乗り切る元気をいただきました。



平成 2 年（政経）卒 野木 正弘

第 25 回 食べ歩きのかい

2024.9.21

今回の食べ歩きのかいは、同日開催された役員会の後にご移動頂いた皆様および、ご多忙のところご参加いただきました会員各位により開催されました。

今回は、赤井さんのご主人が参加され、海外特派員としての日本での活動内容や、日本酒を好まれていること等、いろいろなお話をさせて頂くことが出来、また、参加者の皆様との英語での交流も闊達に行われましたので、とても有意義な会となりました。

15 名の予定でしたが、ご都合で 13 名になりましたが盛会でした。河原さんからは特別の差し入れで金粉入りスパークリングワインを皆で楽しむことが出来ました。河原さんの心の籠ったご配慮に感謝致します。これからも皆様に喜んでいただきますよう工夫を凝らしてまいりますので、出来るだけ多くの会員ご家族の参加をお待ちしております。



平成 28 年（院ア太研）修了 小原 英樹

板橋稲門会 秋のゴルフ大会

2024.9.29

9 月 29 日（日）、板橋稲門会秋のゴルフ大会が KOSHIGAYA GOLF CLUB で開催されました。北稲門会からも 1 名の参加者があり、総勢 10 名によるペリア方式での熱き戦いとなりました。

前週・前々週までの季節外れの猛暑は消え去り、11 時時点での気象状況は、曇天・25.5°・湿度 75%・北の風 1.3m/s と熱中症の心配もほぼ無い、ゴルフ愛好者にとっては絶好のコンディションの中での開催となりました。

ホールアウト後は、前回と同様に軽食を食べながらの表彰式となり、和気あいあいとした中、各賞・ドラコン賞・ニアピン賞の表彰が行われました。早めの大会スタート時間を設定していただいたおかげで、帰宅後、テレビをつけると第 57 回日本女子オープンゴルフ選手権で竹田麗央選手が今季 7 回目の優勝を果たすところを見ることができました。

板橋稲門会のゴルフ大会優勝トロフィーには、トロフィーが見えなくなるほどの優勝者名のリボンがつけられています。これからもそのリボンが増えてほしいと願っています。



昭和 62 年（法）卒 長谷川 誠

2024 年度下期のイベント報告 1/2

※イベントの開催日付は順不同

石神井川地下貯水槽見学会

2024.10.15

10月15日（火）22名の参加で城北中央公園地下貯水池見学をした。東京都が整備済みの貯水池は27か所あるが、ここは来年3月完成予定であり、完成前の水が入る前のタイミングで見学をすることができた。隣には来年度から2期工事の貯水池の工事が始まる予定で、今回見学をした第1期工事の貯水量は9万 m^3 。長さ160m×30mの大きさと深さ38mまで下りて見学を行った。二つのケーソン（コンクリートの箱）を同時に沈めていく工法では日本最大級のもので、新たに時間75ミリの豪雨対策の為、石神井川が一定の水量に達すると、この調整池に貯め込み氾濫を回避することができるものとなる。尚、今後東京都では調節地や河川を地下水路で繋ぐ水理に関しても検討をして、どこかで集中豪雨が発生しても、都全体で水害を防ぐ計画を立てている。見学後は10月4日にリニューアルオープンをした、てんぐ大ホール上板橋店で懇親を深めた。



平成15年（社学）卒 松田 康将

BBQ

2024.10.13

令和6年10月13日（日）。秋晴れの下、午後1時から中台サンシティBBQ広場にてパーティが開かれました。気候不順のためか10月半ばを迎えているのに、藪蚊が群舞しています。鬱蒼とした木立の中には、すでに5基のコンロ台が設営されていました。各コンロの周りを板橋稲門会員と家族、中野・千代田・文京・北稲門会・現役早大生、城北三田会の皆様など50名程が囲んでいます。用意されたシャンパンを紙コップに満たして、朝倉会長の乾杯の発声。和気あいあいに歓談の渦が生まれ、食材の焼き具合へと話が進みます。焼き鳥が・ステーキが・野菜が・イカが焼けたと、コンロ責任者の声が飛び交います。暫し楽しいバーベキュー談義。仲良くビールは4社の銘柄が用意されています。ワインは、赤・白。日本酒。美味しく焼かれた具材とお酒が、参加者の笑顔の輪へと運ばれます。瞬間に楽しいパーティもお開きの刻限を迎えてきました。バーベキューの締めは、焼きそば。焼きそば道を邁進中の小原副幹事長の手際の良さに感銘。3回に焼き分け、調理された焼きそばも盛況のうちに皆様のお腹におさまりました。下戸の私は、フルーツ沢山のフルーツポンチが用意されていることに、大感激しました。至り尽せりの準備をしてくださいました世話人さん・幹事さん、ありがとうございました。



昭和45年（社学）卒 中嶋 茂

2024 年度下期のイベント報告 2/2

※ イベントの開催日付は順不同

池野さんコンサート

2024.10.26

我が板橋稲門会の誇るオペラ歌手、池野さんのリサイタルが昨日あった。私はかぶりつきの一番前でなんと 25 曲を聴かせて頂いた。「愛」をテーマにどれも奥深い歌に酔いしれたが、最後に披露いただいたブラームスの「子守歌」が胸に響いた。

昭和 47 年（政経）卒 朝倉 久男



世界の食を楽しむ会

2024.11.9

11 月 9 日（土）、「世界の食を楽しむ会」は赤羽 AZUL でスペイン料理を堪能した。会食前には、フードアナリストの朝倉好会員が本日のメニューを題材にスペイン料理について漫画チックな資料をもとに解説があった。総勢 18 名が参加し、幹事の遠藤副会長の乾杯挨拶で懇談がスタートした。ワインはスペイン特有のテンプラニーニョ、サングリア等で、イカ墨のライスコロッケ、アヒージョ等を肴に漁師風魚介のパエリアなど全 10 品を頂いた。各テーブルでは話も弾み、あつと言う間の 2 時間半のランチタイムであった。

昭和 47 年（政経）卒 朝倉 久男



関東大学ラグビー対抗戦「第 100 回 早明戦」

2024.12.1

12 月にしては比較的暖かな 12 月 1 日（日）、国立競技場において、100 回目の早明戦が行われました。ここまで早稲田は A グループで全勝、勝ち点 36 の首位、明大は 1 敗、勝ち点 31 の 2 位。早稲田が勝てば完全優勝、明治も勝ち点によっては逆転優勝となる大一番で、まさに 100 回目の記念大会に相応しいおぜん立てが整いました。

去年は 38 対 58 で、一昨年は 21 対 35 で明治が勝っており、国立競技場を見回しても明治の旗やタオルが目立っていました。しかし、今年は違いました。4 万 544 人の大観衆の中には、早稲田の様々なグッズが溢れており、早稲田がトライを決めるたびに大歓声が沸き上がりました。伝統の一戦らしく、どちらかのチームがトライを決めると、すぐに相手チームもトライを決める緊迫した試合が続き、明治も最後まで粘りましたが、最後は 27 対 24 の接戦を早稲田が制しました。Players of the match に選ばれた佐藤健次主将が「次は大学日本一を目指したい」と爽やかな笑顔で話していたのも印象的でした。板橋稲門会もこの笑顔にあやかっ、2025 年は更に ATM（明るく、楽しく、前向きに）の精神で発展してほしいものです。その後の近くのモーニングカフェで開催された他区との合同懇親会も、'勝利の美酒' に大いに盛り上がりしました。最後になりましたが、今回も幹事の池田さん、西本さんには、お仕事等で忙しい中、一方ならぬお世話になりました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

昭和 59 年（法）卒 河原 俊也



2024 年度協力学生のイベント

早稲田祭 2024 理工展 2024 ※

2024.11.2

11月2日、3日に実施された「早稲田祭 2024」と「理工展 2024」に行ってきました。2日はあいにくの雨天でしたが、早稲田キャンパス内は稲門祭とは比べようもないほど多くの観客であふれ、その熱気と若さに圧倒されそうになりました。

本当に気持ちだけ早稲田祭に寄付したところ、感謝状をいただきました。23区支部だけでなく、他の地域稲門会の中にも寄付しているところがあります。板橋稲門会として寄付するというのも考えてもいいかもしれません。ちなみに、山上幹事長も感謝状をいただいていた。こういう機会を通して学生と接点を持っているのだと知って、その地道な努力に頭が下がりました。

今秋のBBQに理工展スタッフが来られていたので、初めて西早稲田キャンパスに入り、理工展も見してきました。理工展では、学園祭を楽しむことに加え、新たな知識を得るきっかけを発見することができる、というのが一つの売りだそうです。私は「ロボットフェスティバル」を観戦しましたが、二足歩行ロボットの熱い闘いは、見ているだけでも面白いですが、人口減少時代を迎える日本にとって重要な戦力となるロボット作成等の技術力の一端に触れ、興味関心が沸きました。

※ 本イベントは大学行事として実施



昭和 59 年（法）卒 河原 俊也

～板橋稲門会 会員募集ご協力のお願い～

板橋稲門会 幹事長 山上 郁雄
事務局 副幹事長 小原 英樹

板橋稲門会は設立以来 38 年を迎えます。現在、会員数は 134 名（2024 年 11 月 1 日現在）です。2026 年には、設立 40 周年を迎える予定です。会員の皆様におかれましては、この間、多大なるご協力ご支援を頂いて参りましたことに厚く御礼申し上げます。会長以下役員一同は、今後当会の更なる発展を目指し、会員各位の一層の親睦を図るため、年次総会をはじめ、毎月開催される様々なイベントや大学および校友会行事への積極的な活動を鋭意推進して参る所存です。

つきましては、会員各位の本学卒業生のお知り合いを是非、当会にご入会いただけるようにご紹介頂きたく存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。お問い合わせは、事務局 info@partners-fc.co.jp までお願いします。

～板橋稲門会 2025 年新年会に是非お越しください～

2025 年 2 月 1 日（土）午後 6 時から、板橋稲門会新年会がホテルメトロポリタン池袋で開催されます。今年は例年通り当会の会長朝倉久男の新年ご挨拶、参加者全員での乾杯のあと、日本障がい者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会委員長の河合 純一氏をお招きして、昨年開催されたパリ・パラリンピックの日本選手の活躍についてお話をいただきます。また、早稲田大学津軽三味線愛好会三津巴による迫力のある演奏をお楽しみいただく予定になっております。会員各位におかれましては是非この機会に親睦と交流を図り楽しいひと時をお過ごし頂きたいと思います。

詳しくは、会員各位に 2024 年 12 月中旬～下旬に 2025 年新年会開催のお知らせをお送りいたしますのでご高覧のうえ是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

新年会幹事 小原 英樹 / 野木 正弘 / 椎名 ひろみ

2025 年前半開催イベント（予定）※

※ 正式決定イベントは役員会承認後通知

※ 23 区支部 / 校友会関連 含む

2024 年 12 月

テニス部会

日時：12 月中旬

場所：赤塚公園テニスコート

幹事：田中副会長

商議員フォーラム

日時：12 月 7 日（土）

場所：大隈講堂

23 区三多摩支部会長

合同懇話会

日時：12 月 8 日（日）

場所：後樂園飯店予定

参加：朝倉会長

2025 年 2 月

新年会

日時：2 月 1 日（土）

場所：メトロポリタン池袋

幹事：小原、野木、椎名

役員会

日時：2 月 15 日（土）

場所：グリーンホール

幹事：山上幹事長

第 2 ブロック会長会

日時：2 月 5 日（火）

幹事：板橋稲門会

3 月

ウォーキング

日時：3 月下旬

場所：松月院お花見

幹事：中村 / 河原

ゴールドシニアの会

日時：3 月予定

幹事：朝倉会長 / 山上幹事長

4 月

役員会

日時：4 月 19 日（土）

場所：グリーンホール

幹事：山上幹事長

春のゴルフコンペ

日時：4 月 27 日（日）

幹事：田嶋 / 野木

5 月

板橋稲門の集い

日時：5 月 17 日（土）

場所：グリーンホール

幹事：山上幹事長

随時

◆健康セミナー

場所：オンライン配信

幹事：窪田常任幹事

◆カラオケ部会

適宜開催 潮 / 小原

～【2025 年度板橋稲門の集い】開催決定～

日時：2025 年 5 月 17 日（土）

場所：板橋区グリーンホール

2025 年 5 月 17 日（土）、「2024 年板橋稲門の集い」が開催予定です。

「第一部 総会」「第二部 懇親会」と二部構成となります。

「第一部 総会」は、朝倉会長が議長を務められ、以下の第 1 号議案から第 5 号議案まで（第 1 号議案は、「2024 年度事業報告」、第 2 号議案は、「2024 年度決算報告」、第 3 号議案は、「2025 年度事業計画」、第 4 号議案は、「2025 年度収支予算案」、第 5 号議案は、「2025 年 役員改正案」）が提案される予定です。アトラクションは未定です。



2024 年 5 月 26 日定時総会



板橋稲門会 健康セミナー (25)

窪田 公一 (昭和 52 年 理工学部卒)

姿勢と健康の関係

近年、スマートフォンなどの普及によって、極端なうつむき姿勢や猫背が癖になっている人が増えています。首（頸椎）の緩やかなカーブがなくなり、ストレートネックになりやすく、頸椎への負担が大きくなります。また、椅子の背もたれに寄りかかってふんぞり返ったり、低く柔らかいソファに座っていると、骨盤が後ろに傾いて腰椎の前方へのカーブがなくなり、腰椎への負担が大きくなります。一方、腰が反って骨盤が前に傾いていると、かえって腰椎のカーブは強くなり、やはり腰椎への負担が大きくなります。



図 1 悪い姿勢（極端なうつむき姿勢）

背中の中層にある筋肉（僧帽筋）の緊張は肩こりの原因に、骨盤の傾きは腰痛の原因になる。



図 2 良い姿勢（骨盤を立てて座る）

背筋が自然な S 字カーブを描き、重い顎をバランスよく支えている。

正しい姿勢で健康を保つ筋トレ

正しい姿勢を保ってさまざまな病気を防ぐには、適度に休息をとりながら体を動かしたり、骨盤を立てた姿勢で座るなど、生活環境を意識して行動変容を起こすことが大切です。体のバランスが取れた良い姿勢を保つためには、時折ストレッチで体をほぐし、体幹などにある抗重力筋*の筋度トレを行って、正しい姿勢を維持する力をつけましょう。

*抗重力筋；姿勢を保持するために働く筋肉の総称：頸部、背中、胸部、腹部、下肢の各部の前後にあり、前後で互いに伸縮してバランスを保っている。



学生時代に行ったアメリカ大陸一周の旅

上野 正史（昭和 62 年 理工学部卒）

1983 年、大学 3 年の夏休みに中学時代の友人 3 人とアメリカ一周バックパッキング旅行に行きました。携帯やインターネットが無い時代ですので、旅行ガイドの「地球の歩き方」が頼りの旅行です。

グレイハウンドバス 30 日間使い放題のチケットとサンフランシスコ IN、ロサンゼルス OUT の旅行券、1200 ドルのトラベラーズチェックを持っての自由な旅です。当時確かレートは 1 ドル 240 円でした。

宿泊は行った土地、土地で、地球の歩き方で紹介されているホテルに実際に行って空いている部屋があるか、価格はリーズナブルか聞いて決めていました。

サンフランシスコからはシアトル、バンクーバーと北上、その後、カナディアンロッキーをレンタカーで縦断しました。（ジャスパーからバンフへ。途中途中にあるキャンプ場でテントに宿泊。）その後、またアメリカに向かいますが、バンフからシカゴまでのバスは長かったな～。確か 40 時間以上かかったと記憶しています。（絶対今じゃ出来ない！）

シカゴからナイアガラ滝（壮大な滝を見て感動！）、そしてニューヨークへ。早朝着いたニューヨークは、タクシードライバーのワンシーンを思い出させるような映画で見る街そのものでした。ニューヨークのホテルは満室だったり、結構高かったりでホテル探しに苦労しました。結果やっと見つけた 1 泊 30 ドルのホテルに泊まり、随分高いなあ～と思った記憶がありますが、今では考えられませんか。

ニューヨーク観光を終え、ワシントンに寄ってマイアミへ。マイアミでは同じホテルに泊まっていた旅行客たちとビーチライフを満喫。

次の街はニューオーリンズです。ジャズが街中に流れるニューオーリンズの夜は最高でした。この旅行でいくつもの都市に行きましたが、一番良かった街と聞かれればニューオーリンズになります。

ニューオーリンズからヒューストン（野球観戦）、サンディエゴ（サイモンとガーファインクルのコンサート）経由でラスベガスへ。カジノが楽しくて予定より 1 日遅れで、最終地ロサンゼルスへ。1983 年はちょうど東京ディズニーランドができた年で、日本ではディズニーの話題で盛り上がっていましたが、自分にとってはカリフォルニアのディズニーランドが最初となりました。

今回、いろいろ思い出しながらアメリカ旅行を振り返りましたが、あらためて、時間があって体力もある学生時代でなければ出来ない旅行だったな～と感じました。そういう意味では本当に貴重な体験だったと思います。何となくではありますが、自分自身この旅行で、人生やりたい、やろうと思ったら何でもできる、何とかするというスタンスを形成できたように思います。この人生最初の海外旅行の影響なのか、その後も海外旅行に行くのが趣味で、ここ数年も妻と毎年どこかに行っています。

来年 2 月はオランダ、ベルギーに行く予定です。

板橋稲門会のみなさまにも、またおすすめの国や観光地、美味しい料理など教えていただければ嬉しいです。今後よろしくお願いいたします。





—日本の郵便制度の歴史 I—

小原 英樹（平成 28 年 院アジア太平洋研）

1. 郵便制度の創始と早稲田大学の関係（大隈重信と前島密）

江戸末期、日本は 1859 年（安政 6）アメリカと日米修好通商条約を締結、横浜・長崎・函館が開港した。その後、数年で兵庫、大阪、新潟が開港、欧米各国が領事館や自国の郵便局をそれらの主要都市と港に開設していた。明治政府は 1868 年（明治元年）欧米列強に日本の国内通信が一方的に支配されている事を憂慮した。そこで諸外国の通信支配を奪還するため 1870 年（明治 3 年）5 月、明治新政府は早稲田大学創始者（旧東京専門学校）大隈重信配下の前島密（まえじまひそか）を郵便権正（えきていごんのしょう・郵便制度創設責任者）に任命し、アジア初の郵便制度創設に着手させた。



2. 初期の郵便配達事情（欧米列強による通信支配の奪還）

明治初期の欧米列強が領事館や在外郵便局を設置していた都市や港は、函館、新潟、東京、横浜、大阪、兵庫、山口、高知、佐賀、長崎、鹿児島である。これらには全て彼らの治外法権的エリアに通信施設が設置されていた。欧米諸国はこれらの在外郵便局を通して、1875 年（明治 8）以前は自国切手を貼って郵便物を排他的に郵送していた。その後、1871 年（明治 4）に日本の郵便制度が発足して 2 年後の 1873 年（明治 6）に「日米郵便交換条約」が締結された。これが開国後日本の外国との初の平等条約だった。更にその後、1880 年（明治 13）までに列強諸国と郵便交換条約が次々と締結された。1875 年（明治 8）に、横浜郵便局が開業（現在の横浜港郵便局）し、わが国初の外国郵便事業が開始された。



（国内郵便用）



（外国郵便用）

3. 飛脚による郵便配送（駅伝のルーツ）

日本の郵便配送システムは、江戸時代の飛脚制度を踏襲した。人による配送のため、それ迄の駅通（飛脚便取次所）をそのまま活用することで、すばやく配送体制を確立する事が出来た。北海道には 120 か所以上の駅通があった。1948 年（昭和 23）に廃止されるまで、郵便取次の他、宿泊所も兼ねていた。因みに、現在の駅伝のルーツは飛脚だったと言われている。

以上から、江戸末期から明治初期に於ける欧米列強による通信支配の脅威に対し、それら既得権益を奪還し、日本の主権を確固たるものとした前島密の役割は大きいといえる。



（当時の飛脚）



明治初期の郵便切手

会員インタビュー | 01

早稲田とわが人生
潮 銃太郎 昭和 35 年 商学部卒

私は昭和12年、練馬区に生まれました。当時は日中戦争が始まり、挙国一致での戦時体制となったため、食糧難時代でもありました。その後、昭和16年12月に太平洋戦争が勃発し、昭和19年には空襲が激しくなり、小学校2年の時に学童疎開しました。その後終戦となり、遊び道具もなく米屋の芋俵が遊び場でした。昭和29年、早稲田高等学院に入学し、男声合唱のコールフリューゲル部に入り、大学の先輩の歌唱指導を受けながら男声合唱に勤めました。



昭和31年 第一商学部入学、3年生の時、早稲田祭でバンドマスターとして指揮をしている最中に、バリトンソロのメンバーが体調を崩して声が出なくなるハプニングが起きました。それでも、全員の力で見事に乗り切った懐かしい思い出があります。（これが人生最初の”ストップ”の経験）

卒業後は三井物産グループに入社、主に化学製品部門を担当しました。1970年代、三井物産はIJPT（イランとの合弁プロジェクト）に注力していました。私も石油化学製品担当としてプロジェクトに参加していましたが、1979年（昭和54年）勃発したイラン革命によりパーレビ国王が亡命し、イスラム政権のホメイニ氏が実権を掌握する事となったため、同プロジェクトが破綻し、当時の額で5,500億円を投入した完成間近のプロジェクト施設・設備等を残して中断の止む無きに至りました。その後、60歳の定年後も取引先企業に勤務し、64歳でサラリーマン人生を終えました。

現在は、近所の「歌と若返り教室」と「介護予約ジム」（脳トレ）に週2回通っています。また、板橋稲門会ではカラオケ部会長として年に数回会員各位とカラオケを楽しんでいます。板橋稲門会には、これからも健康に留意し出来るだけ多くのイベント（ゴルフなど）に参加して会員との交流を続けていきたいと思っています。

会員インタビュー | 02

板橋稲門会に期待します
並木 正道 昭和 37 年 法学部卒

私は昭和13年（1938年）、東京都板橋区に誕生、現在86歳になります。少年時代は頗る真面目で、クラスの学級委員などをやったことがあります。

昭和34年（1959年）4月に早稲田大学 法学部に入学し、昭和37年3月に卒業しました。学生時代は、柔道に精進し、その他にはアイススケートを楽しみ、また、日本女子大学の学生と合同ハイキングをした事が思い出されます。（しかし、その後その参加者同士がお付き合いしてという話は聞いていません）



学問では、法律の勉強の他、杉山ゼミに所属し、主に食物の歴史について学びました。その関係で卒業後は農林省（現 農林水産省）に入省し、経理部門に配属されました。その2年後に秘書課に異動、その当時、省内の早稲田の先輩の妹さんの紹介で、現在の家内と結婚しました。その後、郵政省に移り、10年ほど勤務（将来の修行）し、37歳の時、父の跡を継いで、成増郵便局の局長に就任し、65歳まで勤めあげました。

社会活動としては、昭和62年（1987年）から、成増南町会の副会長となり、平成27年に（2015年）には同町会長となり、現在に至っております。板橋稲門会には今後も出来るだけ各行事に参加し、会員各位との交流を深めたいと思っています。最後に、板橋稲門会の益々の発展を祈ります。

会員インタビュー | 03

早稲田エリアの通訳案内士
宮崎 雅文 平成9年 文研修了

西洋演劇の研究をするために修士課程ではじめて早稲田に通うようになった私にとって、学生時代の思い出となると戸山キャンパスか演劇博物館の付近に限られるような気がします。自然とあの辺りで昼食を取ることが多くなり、メーヤウの辛いカレーは特にお気に入りでした。雰囲気がいぶ変わりましたが、高田牧舎が今でも残っているのは嬉しいですね。穴八幡宮にもよくお参りに行きました。



2015年度の通訳案内士試験に合格してからは、仕事のない週末中心にボランティアでガイド活動を行っていました。転勤がきっかけで2020年の初頭に退職してガイド業に専念しようと決断しましたが、約2ヶ月後に新型コロナウイルスによる緊急事態宣言があり、その後は約2年半ほとんどまとまった仕事がなく、苦しい生活が続きました。ガイドを本業にできる目処が立ったのは2023年のことです。円安も影響しているのか、2024年にかけて続けざまに仕事が入るようになり、なんとか首の皮がつながりました。

昨年度から、所属しているボランティアガイドの団体の一つで早稲田エリアの担当者を任されるようになりました。稲門会での各イベントを通して皆様との交流を深めて、早稲田エリアの魅力を再発見し、また発信していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

板橋稲門会 広報担当者紹介 板橋稲門会 広報委員会

会員の皆様、今回も当会会報 2025 年度 1 月号をご覧頂き有難うございます。

板橋稲門会では、会員へのメッセージ手段として、毎年2回発行される会報（6月メール、1月は紙発行）の他、ホームページとフェイスブック（Facebook）によるタイムリーな情報を発信しています。

この度、広報委員会にホームページの情報収集と編集を田中さんと一緒にやって頂ける小西 慶信さんが参加されました。既に、開催されたイベントや大学行事等、積極的に発信して頂いております。

会員の皆様におかれましては、今後の広報活動に私共と共に参加して頂ける方をさらに募集しております。皆様ご検討をよろしくお願い致します。

お問い合わせは、info@partners-fc.co.jp までお願いします。

平成28年（院ア太研）修了 小原 英樹



会報分科会（遠藤、赤井、河原、小原）



ホームページ
田中



ホームページ
小西



フェイスブック
野木



新規会員紹介＊ 2024 年度下期

鈴木 忠勝（平成 5 年・商学部卒）

1993 年に早稲田大学商学部を卒業しました。卒業後は、上場会社 3 社で約 25 年間、人事業務に従事しました。現在は、保険、人事コンサルタントとして活動しております。保険コンサルタントとしては、保険代理店に在籍しながら、生命保険、損害保険の保険募集人として活動しております。また、人事コンサルタントとしては、人材紹介会社を設立し、人材紹介業に取り組んでおります。趣味はゴルフで、スコアは 100 程度です。ぜひお誘いいただきたく、よろしくお願いいたします。



協力学生紹介＊

安斎 碧（創造理工学部 社会環境工学科 2 年）

創造理工学部社会環境工学科 2 年の安斎碧です。現在、大学では主に土木工学を学んでいます。高田馬場のカフェでバイトをしたり友人と高田馬場の街を呑み歩いたりして、学生の街の雰囲気を日々満喫しています！私が所属している理工展連絡会は「理工展」という名前の早稲田祭と同日開催される、早稲田大学の理系の学園祭を運営するサークルです。早稲田祭とはまた違った雰囲気の学園祭です。大学教授の講義や実験教室などが開催され、高度な学問に気軽に触れることができます。来年以降、理系に限らず文系卒業生の方々にもお楽しみいただける企画を増やしていきますので是非ご来場ください！

＜稲門祭・BBQ に参加＞



大久保 真衣（文学部 ドイツ語ドイツ文学コース 2 年）

文学部ドイツ語ドイツ文学コース 2 年の大久保真衣と申します。幅広い年代の人に親しみがあるドイツ文学作品は、「アルプスの少女ハイジ」ではないでしょうか。約 70 の言語に翻訳され、児童文学の古典として世界中に愛されています。あまり知られてこなかった原作者のヨハンナ・シュペーリの人生を紐解きながら読むことで、多くのメッセージを読み取ることができます。そして、多言語に翻訳された作品と原作を比較することで、国や地域ごとに变化した「ハイジ像」が浮かび上がり、文化的背景の違いを理解することにも繋がります。ドイツ文学を通して、多様な価値観を尊重し合える社会について考えていきたいです。学生でありながらも、BBQ 大会や稲門会などにお誘いいただき感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

＜稲門祭・BBQ に参加＞



根岸 秀輔（先進理工学部電気・情報生命工学科 2 年）

先進理工学部電気・情報生命工学科 2 年の根岸秀輔と申します。私の学科では、電気・電子・情報・生命の 4 分野を融合させた最先端の研究に取り組むべく日々学びを深めており、科学技術の進歩に貢献することを目指しております。また、理工キャンパスで毎年開催される学祭「理工展」の運営サークルでは幹事長を務め、組織をまとめあげる難しさとやりがいを実感しております。この経験を通じ、リーダーシップや協調性の大切さを学んでおります。板橋稲門会の皆様のご活躍に触れ、キャリア形成や組織運営の知識を深めたいと考えております。ご指導・ご交流を賜れますと幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

＜稲門祭・BBQ に参加＞



役員・顧問・相談役一覧

2024 年度 役員名簿 (2024.11.16 現在)

【役員】

氏 名	卒年次	学部	役職	備 考
朝倉 久男	昭和47	政経	会長	商議員・代議員 東京都23区支部監事 第2ブロック会長会
吉田 重雄	昭和48	政経	副会長	商議員・代議員
田嶋 敏彦	昭和56	社会学	副会長	商議員
遠藤 陽子	平成5	政経	副会長	商議員・代議員(年次)
田中 康智	平成10	商	副会長	
山上 郁雄	昭和59	理工	幹事長	代議員・23区支部幹事 2024稲門祭運営委員
小原 英樹	平成28	ア太研	副幹事長	商議員・代議員
野木 正弘	平成2	政経	副幹事長	代議員
窪田 公一	昭和52	理工	常任幹事	代議員
中村 真人	昭和59	教育	常任幹事	
西本 尚恵	昭和61	文	常任幹事	代議員
池田 正司	平成3	法	常任幹事	2024稲門祭実行委員
小澤 彰	平成12	法	常任幹事	
松田 康将	平成15	社会学	常任幹事	
岡田 常之	昭和54	法	常任幹事	
椎名 ひろみ	平成30	スポ研	常任幹事	
中妻 穰太	平成8	文	常任幹事	
小西 慶信	昭和61	文	常任幹事	
池野 博子	平成6	文	常任幹事	
堺 健太郎	平成18	文	会計幹事	
赤井 ひさ子	昭和57	文研	会計幹事	
追川 恵二	昭和52	教育	監事	
河原 俊也	昭和59	法	監事	2024稲門祭運営委員

【名誉顧問・顧問・相談役】

氏 名	卒年次	学部	役職	備 考
下村 博文	昭和54	教育	名誉顧問	
飯田 金廣	昭和33	文	顧問	元会長・名誉賛助員 賛助商議員・賛助代議員
鷹觜 慎吾	昭和37	商	顧問	前会長・賛助員 商議員
富澤 輝一	昭和31	商	相談役	賛助代議員
龍田 幹雄	昭和30	理工	相談役	
藤田 治	昭和44	理工	相談役	商議員・代議員

会報記事のホームページ登載について

板橋稲門会のホームページには過去の会報を閲覧できるページがあり、会員だけでなく誰でもアクセスが可能です。ところで、記事の中には、写真等個人が特定できる情報が記載されているものも少なくないもので、個人情報保護の観点から、ホームページへの登載について投稿者の承諾が必要ではないかとの問題提起が役員会でなされました。会報へ投稿した記事がそのままホームページにも載ることについて、多くの会員の方は問題ないと考えておられるものと認識していますが、今後ともご理解、ご了承の程、よろしくお願いいたします。なお、個人情報をホームページには出したい場合、あるいは、個人情報漏洩等のおそれを感じたような場合には、会報受領後 2 週間以内にホームページ担当（小西）までお知らせください。

連絡先 : yo_konishi777@yahoo.co.jp

編集後記

— 広報委員会（会報分科会）小原 英樹（平 28 院ア太研）
遠藤 陽子（平 5 政経） 河原 俊也（昭 59 法） 赤井 ひさ子（昭 57 院文研） —

早いもので、もう 1 年が過ぎました。年 2 回会報を作成して皆様にお届けする事にもだいぶ慣れてまいりました。一口に会報作成と言っても、実は大変な時間と労力がかかります。まずイベント幹事や執筆者からの記事収集が毎週のようにあり、加えて校友会や大学行事も含めて一定の記事枠の中に適切に編集し、写真も選定して構成していきます。毎月 1 回、会報分科会メンバーは 4 人共ほ欠席なく集まって、基本 16 ページの編集や校正をフェイストゥフェイスで行っています。我々、この事はとても大切な事と位置付けています。そして、編集が終わった都度委託イラストレーター制作者に原稿を渡し、ページ割や構成、ボリューム等を見ながら制作していきます。会報 1 回発行にかかる日数は、記事編集に延 20 日、イラレ製作に延 7 日（一日 2-3 時間）、1 月号は印刷に約 1 週間、発送に 1 日です。今後とも会報へのご理解ご協力をお願い致します。

会報分科会 平成 28 年（院ア太研）修了 小原 英樹